

◆9・10月スケジュー

月日	内 容
9. 2	常任理事会 (OMCビル)
9. 7	第2回気象講習会 (豊川高校)
9.20	県民登山教室① (猿投山)
10. 4	県民登山教室② (鈴鹿朝明溪谷)
10. 7	常任理事会 (OMCビル)
~	第2回登山勉強会 (県スポーツ会館)
10.14	~ (東三)
10.17~19	第69回国民体育大会 (長崎)
10.21	第3回理事会 (県スポーツ会館)
10.25~26	救助技術講習会・研修会 (鞍ヶ池)
~	鈴鹿山系連絡協議会 (滋賀県)

コン所持は、滑走系の所持率は9割近い。
雪崩死亡事故全体として、年平均5件発生し9人が亡くなっている。レクリエーションでの雪崩死者の95%は山岳の事故であった。
また、事故を減らすためにどのような方向性が有効か！
について、教育、積雪コンディション情報の提供、装備の携帯と事前の訓練。などがあげられた。
最後に、昨年起きた真砂岳の雪崩の実態を映像で紹介され、講義を終えた。
その後「山岳遭難事故防止のために」の取り組みについて提案があり、承認された。
閉会式では、神崎日本山岳協会会長が挨拶を述べて、16時20分終了した。

◆目的別・月別発生状況 (人員)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明	合計
登山	87	48	73	122	161	128	184	241	205	201	119	75	1	1,645
ハイキング	5	2	10	15	31	13	11	9	11	13	24	6		150
スキー登山	10	8	15	10	8	3					7			61
沢登り	1	1		1	1	3	7	6	25	2		1		48
岩登り	1	5	4	2	2	5	4	7	2	3	4	4		43
登山目的計	104	64	102	150	203	152	206	263	243	219	154	86	1	1,947
山菜・茸採り		2	1	19	75	117	22	2	35	67	16	4		360
観光	2		1	6	10	4	47	40	5	4	4	7		130
作業	7	2	3	3	9	6	4	5	3	7	7	3		59
溪流釣り				4	1	9	5	4	9					32
写真撮影			2	3	2	2	2	1		4	3	1		20
山岳信仰		2				4	3	1						10
自然観賞			1		1						1			3
狩猟	2	2				1			1					6
その他	77	6	7	4	8	2	4	12	4	6	14	2		146
その他計	88	12	14	20	31	28	65	63	22	21	29	13		406
合計	192	78	117	189	309	297	293	328	300	307	199	103	1	2,713

◆態様別・月別発生状況 (人員)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明	合計
道迷い	120	35	58	87	135	159	70	59	111	150	101	49		1,134
滑落	18	18	25	44	81	48	46	38	43	53	28	22		460
転倒	13	7	11	18	37	26	64	90	51	44	22	10		393
病氣	7	4	3	9	19	18	55	61	20	17	4	4		221
疲労	5	5	4	9	6	9	20	37	18	13	9	4		137
転落	2	2	6	4	3	9	9	12	11	7	5	3		73
悪天候	16				6	3	10	2	16	3	5	3		64
野生動物襲撃				4	10	2	6	2	11	4	2	1		42
雪崩	1	3	4	4							7	1		20
落石					2	4	1	4	3	2		1		17
その他	6	3	4	5	6	12	10	18	11	4	9	5	1	94
不明	6	1	2	5	4	9	2	5	7	10	6	1		58
悪天候以下計	29	7	10	18	28	30	29	31	48	23	29	12	1	295
合計	192	78	117	189	309	297	293	328	300	307	198	104	1	2,713

◆単独遭難の月別発生状況 (人員)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明	合計
死亡	5	2	7	14	22	12	7	12	12	16	12	9	1	131
行方不明	1	1	1	1	2	5	2	2	4	9	4	1		33
重傷	5	6	11	7	16	12	8	23	14	18	10	4		134
軽傷	3	5	9	11	17	17	18	26	19	13	9	3		150
無事救出	25	12	20	19	61	59	44	35	39	43	32	15		404
計	39	26	48	52	118	105	79	98	88	99	67	32	1	852

初穂山で春の自然観察会

花の宝庫に多くの登山者で賑わう

自然保護副委員長 鈴木 行 薫

愛知岳連自然観察会を6月8日(日)、岐阜県白川郷の天生湿原及び初穂山にて開催いたしました。

当日、午前9時、集合場所の天生峠の駐車場に着くと、多くの観光バスと車がいる。白川郷からの国道360号線は、5月末に開通したばかりのためか、多くのハイカーでにぎわっている。

岳連の22名の参加者が集まったところ出発する。30分ほどで、天生湿原に到着。ミズバショウの花は見頃である。他にもミツバオウレン、ミツガシワ、ツバメオモト、ハルリンドウなどの花を観察する。

さらにカラ谷分岐に出る。ここはニリンソウとサンカヨウの花が競演する場所。一番のお気に入りの場所。しかし今年は、サンカヨウの花は、ほとんど散っていた。さらにカラ谷の登山道を歩くと、キヌガサソウの群生地が現れる。これも写真タイムを取り、木平湿原との分岐にて休憩を取る。

ここから初穂山への山頂へと向かう。急な登りが2ヶ所ほどあるが、足元のツバメオモトの花が癒してくれる。山頂は、狭く、登山者が次から次と登ってくるので、3分ほど滞在し、下山して昼食の場所を探す。22名が一堂に休憩するとなると、なかなか場所がない。

下山ルートは、木平湿原を周遊する予定であったが、雲行が怪しくなり、雨が降りそうなこと、下山の階段が滑りやすいことを踏まえて、急遽同じルートで下山することとした。天生峠に到着したと同時に、大雨が降りだした。閉会の挨拶は省略して、直ちに車に乗車した。

この山は、私の好きな花の名山の一つでもあり、花の楽園と言っても過言でないが、花のベストシーズンに訪れるのは難しい。もう一週間早く来れば、サンカヨウとニリンソウの競演が見られたと思う。しかし今回も40種類以上の初夏の花を見ることができ、満足した山旅であった。来年の春も、花を愛でる自然観察会を開催したいと思います。

(やまびこ山想会)

自然保護委員会

自然観察会や植生保護活動等話し合う

自然保護副委員長 鈴木 行 薫

6月10日(火)県スポーツ会館第2会議室において、第1回自然保護委員会が、午後7時から8時までの1時間開かれた。

会議の内容は、次のとおりです。

1. 報告事項
①5月3日、鈴鹿・御在所中道登山口において、登山についてアンケート調査実施
- ②5月29日、やまびこ山想会清掃登山(本宮山へ貸切バスで32人が参加)
- ③6月8日、第34回自然観察会(天王湿原において22人が参加する)
2. 審議事項
①11月8日(土)鈴鹿・お金明神に於て、第35回自然観察会。

- ②自然保護指導員研修会及び植生活動は、今年度は実施しない。
 - ③11月22日(土)24日、広島県において日山協自然保護委員会が開催される。1名が出席の予定。
- 以上について話し合った。

◎次回理事会は
10月21日(火)です

安心して選べる三河地区
のプロショップ
JR刈谷駅前

穂高

〒448 刈谷市桜町1-13
TEL:0566(23)8611
定休日/火曜日
営業時間/10:00~20:00

登山用品豊富!

公官庁の許認可申請・権利義務・事実証明の書類作成

西山行政書士事務所

〒460-0002
名古屋市中区丸の内3丁目1523番地 大栄ビル204号室

TEL:052-961-6506 FAX:052-961-6507
URL: <http://www.nygs-office.com/>
facebook: <http://www.facebook.com/nygs.office>

観光庁長官登録旅行業第490号(社)日本旅行業協会正会員

ALPINE ツアー サービス

海外トレッキング/世界の山旅 専門旅行会社
まずは「ツアーカタログ」ご請求下さい
個人&グループでのご利用お待ち申し上げます

名古屋営業所 TEL:052-581-3211
〒450-0002 名古屋市市中村区名駅3-23-6 第2千福ビル8階
FAX:052-561-8338 E-mail:nagoya@alpine-tour.com
ホームページ <http://www.alpine-tour.com>

Renopoint

<http://www.renopoint.jp>

Original Wear & Goods

オリジナルウェア・CMウェア (広告掲載)
カジュアルユニフォーム&グッズ
デザイン・企画・制作
お気軽にお問合せ下さい。

特許出願 GLASS PERCH(グラスパ・チ)

株式会社リノポイント 〒491-0835 愛知県一宮市あずら1-5-7
TEL:0586-58-5021 FAX:0586-58-5022 E-mail:ito@renopint.jp